

北陸地方整備局入札監視委員会事務局  
資 料 配 付

配布日時 令和 8 年 1 月 23 日  
配 布 を も っ て 解 禁

## 北陸地方整備局入札監視委員会の第一部会第2回定例会議を開催しました — 議事概要を公表します —

北陸地方整備局入札監視委員会<sup>(※1)</sup>は、第一部会<sup>(※2)</sup>の第2回定例会議を12月15日に北陸地方整備局で開催しました。

定例会議では、入札契約の運用状況の報告、令和7年度上半期発注工事等の中から部会が抽出した10件の事案の審議が行われました。

なお、審議の結果、委員会による意見具申及び勧告はありませんでした。

※1 入札及び契約の過程、契約内容の透明性を確保するため、平成6年度から設置された学識経験者等で構成される第三者機関です。

※2 第一部会は、港湾空港関係事務以外の入札・契約手続きに關わる事項について、審議しています。

同時発表記者クラブ  
管内各県記者クラブ

(問い合わせ先)

北陸地方整備局入札監視委員会事務局  
第一部会 電話025-280-8880(代表)  
主任監査官 高橋 直樹(会議の運営)  
契約管理官 伊藤 貴子(別紙「1 入札・契約手続きの運用状況(1)~(9)」、  
「2 抽出事案(役務の提供等及び物品の製造等)」)  
技術開発調整官 堀内 崇志(別紙「1 入札・契約手続きの運用状況(10)」  
「2 抽出事案(工事)(建設コンサルタント業務等)」)

北陸地方整備局入札監視委員会（第一部会第2回定例会議） 議事概要

開催日 及び場所	令和7年12月15日（月） 北陸地方整備局（新潟市中央区美咲町1-1-1）					
第一部会 所属委員	部会長 阿部 和久 （新潟大学 工学部 教授） 部会長代理 豊田 浩史 （長岡技術科学大学 教授 環境社会基盤工学専攻） 委員 大谷 友男 （富山国際大学 現代社会学部 教授） 委員 角家 理佳 （弁護士） 委員 益田 高成 （新潟大学 法学部 准教授）					
審議 対象期間	令和7年4月1日～令和7年9月30日					
報告事項	入札・契約手続の運用状況について (1) 工事、建設コンサルタント業務等、役務の提供等及び物品の製造等の発注状況 (2) 指名停止等の運用状況 (3) 入札談合に関する情報等への対応状況 (4) 再度入札における一位不動状況 (5) 低入札価格調査制度調査対象工事の発生状況 (6) 一者応札の発生状況 (7) 不調・不落の発生状況 (8) 高落札率の発生状況 (9) 有資格業者登録状況 (10) 建設コンサルタント業務等に係る業務成績評定点の登録ミスに関する報告					
審議事項 (工事)	抽出事案10件（工事7件、建設コンサルタント業務等2件、役務及び物品1件）					
	契約方式	件名	契約業者名	契約年月日	契約金額（千円）	入札者数
(建設コンサルタント業務等)	一般競争入札方式 (政府調達に関する協定適用対象工事)	令和6年法立正院海岸宝立地区外災害復旧工事	令和6年法立正院海岸宝立地区外災害復旧工事戸田・壁屋地域持続型建設共同企業体	R7.8.5	3,187,140	7
	一般競争入札方式 (政府調達に関する協定適用対象工事以外)	大河津分水路山地部掘削その25工事 R7・8・9富山管内道路維持作業	(株)中越興業 道路技術サービス(株)	R7.6.2 R7.4.1	282,161 239,800	6 1
		野高場地区浸透対策その1工事	藤森建設工業(株)	R7.9.1	182,600	7
		R7日向山第1号床固工工事	(株)傳刀組	R7.6.2	127,600	1
(役務の提供等及び物品の製造等)	指名競争入札方式	輪島地方合同庁舎外1件(25) 外構その他復旧工事	北川瀝青工業(株)	R7.5.20	57,200	3
	随意契約方式	R7能越道笠師川橋下部その5工事	名工建設(株)	R7.8.20	318,890	9
	一般競争入札方式 (総合評価落札方式)	令和7年度立山砂防事務所管内砂防施設地質調査業務	ダイチ(株)	R7.4.1	24,750	3
	公募型プロポーザル方式	R7・8年度利賀ダム管理棟新築設計業務	(株)エーシー工設計	R7.9.29	73,150	3
	一般競争入札方式	令和6年度除雪トラック(10t級 6×6)5台交換購入(その2)	岩崎工業(株)	R7.4.15	439,256	1
委員からの意見質問、それに対する回答等		別紙のとおり				
委員会による意見の具申又は勧告の内容		特になし				

※審議対象案件については、北陸地方整備局入札監視委員会規則第9条により、当番委員が抽出。

意見・質問	回答
<b>1 入札・契約手続きの運用状況について</b> (1) 工事、建設コンサルタント業務等、役務の提供等及び物品の製造等の発注状況 ・ 特になし。	
(2) 指名停止等の運用状況 ・ 特になし。	
(3) 入札談合に関する情報等への対応状況 ・ 特になし。	
(4) 再度入札における一位不動状況 ・ 特になし。	
(5) 低入札価格調査制度調査対象工事の発生状況 ・ 特になし。	
(6) 一者応札の発生状況 ・ 建設コンサルタントや役務において、様々な入札方式があるなか競争性が確保されていると思われる入札方式がある一方、1者応札が多い入札方式がある。1者応札が多くなるなどの理由は何か。	・ 建設コンサルタントの発注については、業務の難易度、専門性等を考慮して発注方式を選定しています。1者応札が多い案件は、高度な専門性を要することに加え複数年にわたり検討している業務や、地域性が高く緊急な現場対応が求められる業務などが該当したと考えています。 ・ 役務の発注については、原則一般競争で実施しています。1者応札が多い案件については、既存機械・設備の機器類に熟知した保守点検等が該当したと考えています。
(7) 不調・不落の発生状況 ・ 特になし。	
(8) 高落札率の発生状況 ・ 特になし。	
(9) 有資格業者登録状況 ・ 特になし。	
(10) 建設コンサルタント業務等に係る業務成績評定点の登録ミスに関する報告 ・ 当面の対策とその先のシステム対策の二面で併せて対応して欲しい。	・ ご指摘を踏まえ対応していきます。

意見・質問	回答
<p><b>2 抽出事案の審議について</b></p> <p>(工事)</p> <p>1 一般競争入札方式 (政府調達に関する協定適用対象工事) 「令和6年法立正院海岸宝立地区外災害復旧工事」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>入札結果の中で、施工体制確認の追加資料の提出が未提出の者は、どの様な理由なのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>未提出者は、低入札で、調査基準価格以下となつた者となります。発注者が求める施工内容を確実に実施できるかの審査を行うため、施工体制確認の追加資料を求めましたが、提出されなかつたものです。</li> </ul>
<p>(政府調達に関する協定適用対象工事以外) 「大河津分水路山地部掘削その25工事」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>応札した者の入札金額が調査基準価格とほぼ同額である。予定価格と調査基準価格の金額の妥当性をどの様に考えているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本工事は公表されている積算基準と見積参考資料を提示し積算しています。また、調査基準価格の算定方法も入札説明書に示されています。そのため、業者は精度が高い見積りが可能であったと考えられます。</li> </ul>
<p>「R7・8・9富山管内道路維持作業」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>特になし。</li> </ul>	
<p>「野高場地区浸透対策その1工事」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>特になし。</li> </ul>	
<p>「R7日向山第1号床固工事」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>入札参加者が1者と少ない理由は何か。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本工事は現場環境が特殊でした。特に石張り職人による作業があるため、施工体制を確保できた者が限られたものと考えています。</li> </ul>

意見・質問	回答
<p><b>2 指名競争入札方式</b>  <b>「輪島地方合同庁舎外1件（25）外構その他復旧工事」</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>一般競争を2回実施しているが、参加者がいなかった理由は何が考えられるのか。</li> <li>2回目の一般競争を実施した際の、入札額と指名競争時の落札者以外の金額との差はどうか。その際に予定価格超過が2者とあるが、その要因は何か。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>建築工事については、技術者が確保できないこと、能登半島の地域性により現場までの移動時間や作業員の宿泊施設の確保が難しいことなどが考えられます。</li> <li>2回目の一般競争の際に、業務内容の見直しを行いましたが、予定価格に比べてかなり高い金額の入札額でした。指名競争の落札者以外の額と比べてもかなり高い金額の入札が行われております。入札内訳書を確認したところ、個別の要因ではなく、全体的に高い傾向でした。</li> </ul>
<p><b>3 隨意契約方式</b>  <b>「R7能越道 笠師川橋下部その5工事」</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>一般競争を2回実施しているが、一般競争の際の予定価格等と随意契約の金額との差はどのくらいか。</li> <li>随意契約時は、低入札価格の設定はあるのか。</li> <li>随意契約時の受注意思提示者数が17者で、実際に見積書を提出したのは9者の理由は何か。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2回目の一般競争の際に、業務内容の見直しを行い金額が増加しています。随意契約の際は2回目の予定価格と同様です。</li> <li>低入札価格の設定はありません。</li> <li>技術者や施工体制の確保が困難になったのではないかと思われます。</li> </ul>

(建設コンサルタント業務等) 1 一般競争入札方式（総合評価落札方式） 「令和7年度立山砂防事務所管内砂防施設地質調査 業務」 ・ 特になし。	
2 公募型プロポーザル方式 「R 7・8年度利賀ダム管理棟新築設計業務」 ・ 特になし。	
(役務の提供等及び物品の製造等) 一般競争入札方式 「令和6年度 除雪トラック（10t 級6×6）5台 交換購入（その2）」 ・ 特になし。	